



KIRISHIMA GUIDE
霧島
らんまん
Welcome
私の大好きな
KIRISHIMA
湯から山まで楽しむ



KIRISHIMAの温泉がスキ

どの温泉に入る？

様々な泉質が楽しめる 4つの温泉郷

4つの温泉郷がある霧島市。山あいや川沿い、西郷どんゆかりの地など、それぞれに特徴があります。ホテルに旅館、自炊宿など温泉施設も様々。大地の恵みを思い思いに楽しんで。

霧島温泉郷



お宿ひしめく山あいに、湯けむりもくもくと立ち上るさまに心もほっこり。観光案内所や、森の中のレストラン、おしゃれなカフェにパン屋さんなど温泉以外の施設やお店も充実しているエリアです。

日当山温泉郷



鹿児島県の奥座敷として栄えてきたココは、県内で最も古い温泉郷と言われ、西郷隆盛もよく通っていたとされています。現在は天降川の両岸に20数軒の旅館、公衆浴場、家族湯が点在しています。

霧島神宮温泉郷



霧島山の山懐、標高800mの湯之野温泉を源泉とした歴史ある温泉郷で、霧島神宮を中心に温泉施設が点在しています。立ち寄り湯を利用できる宿もあるので、霧島登山やトレッキング、森林散策の帰りにも利用してみたいかが？

妙見・安楽温泉郷



天降川の中～上流域にあり、川の風景やせせらぎに癒されながら入浴が楽しめます。豊富な湯量と泉質の良さは評判で、ホテルや旅館だけでなく、昔ながらの湯治宿も多く立ち並ぶエリアです。

9の泉質、あります。

全国トップレベルの泉質数を有する霧島の温泉郷。温泉利用の効果が期待され、健全な保養地として環境大臣が指定する、国民保養温泉地にもなっています。泉質をチェックしながらその違いを楽しむのもオススメです。

✔ 単純温泉

無色透明無味無臭が大半。pH8.5以上のものをアルカリ性単純温泉という。肌に優しく、飲泉しやすい。アルカリ性単純温泉は石けん効果で肌がツルツルに。

✔ 二酸化炭素泉

末端まで血流を促し、心臓に負担をかけず血圧を下げるため、「心臓の湯」と称えられる。入ると体に気泡が付く。

✔ 炭酸水素塩泉

「ナトリウム-炭酸水素塩泉(重曹泉)」と「カルシウム・マグネシウム-炭酸水素塩泉(重炭酸土類泉)」の2種類がある。重曹泉は肌の清浄・美肌作用があり「美肌湯」と言われる。重炭酸土類泉は黄褐色の場合が多い。

✔ 塩化物泉

日本では単純温泉と並んで多い泉質。よく温まり、保温効果に優れており「熱の湯」と言われる。殺菌作用も高い。なめると塩味がする。

✔ 含よう素泉

海水、海藻に多く含まれるヨウ素には殺菌効果がある。

※含よう素泉は霧島の温泉にはありません。

✔ 硫酸塩泉

陽イオンの主成分により、芒硝泉、石膏泉、正苦味泉の3種類に分けられる。石膏泉は切り傷や打ち身への鎮静効果から「傷の湯」と言われる。「正苦味泉」は飲用で便秘に効果的。

✔ 含鉄泉

総鉄イオンを20mg/kg以上含むもの。含まれる鉄分が浴槽中で空気に触れ、赤茶色を呈しやすい。炭酸鉄泉(鉄[II]-炭酸水素塩泉)と、緑ばん泉(鉄[II]-硫酸塩泉)の2種類が含まれる。

✔ 硫黄泉

硫化水素泉と単純硫黄泉の2種類がある。硫化水素を含むとき卵のような香りを放ち、浴槽で青白濁する。刺激が強い泉質なので注意も必要。皮膚又は粘膜の過敏な人や、高齢者の皮膚乾燥症は禁忌となっている。

✔ 酸性泉

酸味が強く殺菌力があり、肌への刺激も強い。皮膚又は粘膜の過敏な人や、高齢者の皮膚乾燥症は禁忌となっている。

✔ 放射能泉

俗にラジウム泉とも言う。無色透明無味無臭で冷泉が多い。放射能泉のホルミシス効果(高濃度あるいは大量に用いられた場合は有害であるのに、低濃度あるいは少量に用いられれば逆に有益な作用をもたらす現象)も提唱されている。

参考：鉱泉分析法指針、療養泉の泉質別適応症(改訂)

